



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所： 新潟市体育館
 試合区分： 成年女子 2回戦
 開催期日： 2009年10月3日(土)
 開始時間： 13:30

GAME No. 1003D3

主審： 岩田 千奈美
 副審： 井口 愛

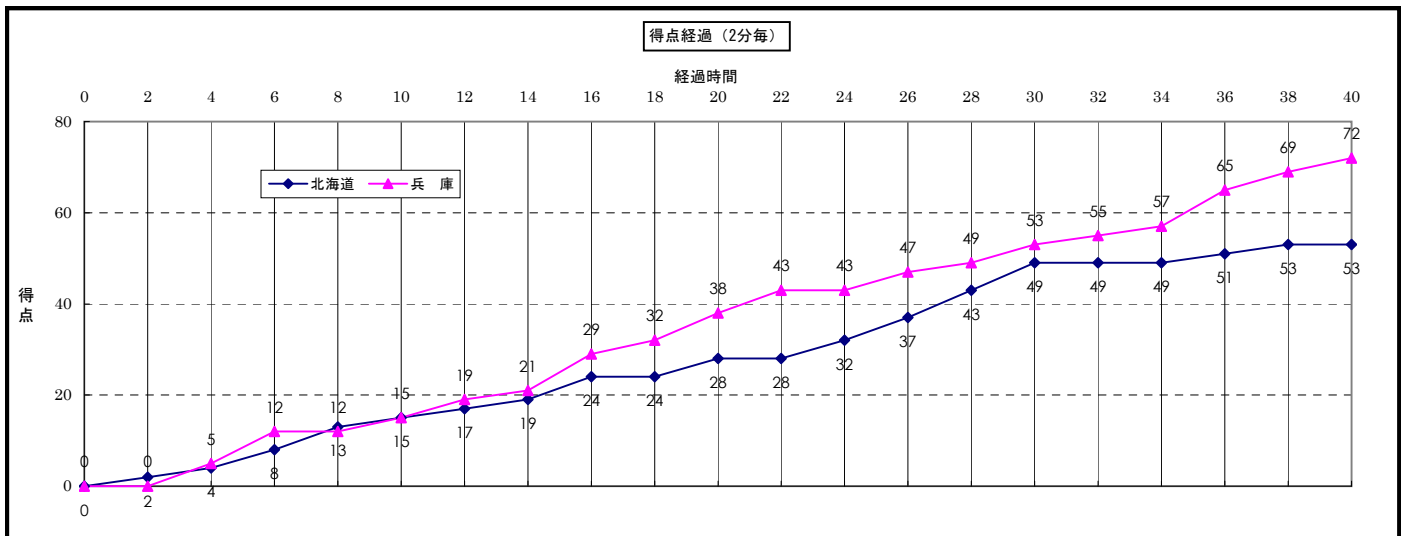
Team A 北海道	●	15 -1st- 15 13 -2nd- 23 21 -3rd- 15 4 -4th- 19	○	Team B 兵庫
	53		72	

TEAM A		北海道					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		仁部 さおり	—	—	—	—	—
5		横山 祐子	0	0	0	0	0
6	*	高橋 伸素美	3	1	0	0	1
7		安澤 祐貴	0	0	0	0	0
8	*	三浦 春日	10	0	5	0	2
9	*	長内 ほのか	9	3	0	0	2
10		黒川 幸恵	2	0	1	0	2
11		五十嵐 美和	0	0	0	0	1
12		恩田 倫恵子	3	1	0	0	2
13	*	大鷹 さおり	10	0	5	0	3
14	*	富士 佳恵	16	0	7	2	3
15							
Coach		幸丸 政実					0
TOTAL			53	5	18	2	16

TEAM B		兵庫					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	榊原 紀子	11	3	1	0	1
5		小林 由佳	11	0	4	3	3
6		濱崎 美樹	2	0	0	2	0
7	*	野口 亜紀	0	0	0	0	1
8		井本 史	—	—	—	—	—
9	*	根田 有莉奈	12	3	1	1	0
10		白井 敦子	3	1	0	0	0
11	*	松澤 希美	10	0	5	0	0
12	*	村田 稚佳	17	0	6	5	1
13		小河 加奈	—	—	—	—	—
14		滝井 亜里沙	6	0	3	0	0
15							
Coach		野老 稔					0
TOTAL			72	7	20	11	6

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	—	—	25:31	36:07		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	14:13	—	—	—		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、両チームともハーフコートのマンツーマンディフェンスでスタート。北海道は、ハーフコートを広く守る兵庫に対して、#8三浦や#13大鷹の果敢なドライブインで得点を重ねる。一方、今大会初戦の兵庫は、なかなかシュートが決まらなかったが、開始3分が過ぎたところで、#11松澤のミドルシュートと#9根田の2連続3Pが決まり、本来の動きを掴んだ。1Qは互いに相手を牽制し合う流れとなり15-15で終了。

2Q、北海道は、ディフェンスを2:3ゾーンディフェンスに変える。対する兵庫は、インサイドを攻めきれず、アウトサイドからのロングシュートを放つも決まらず、開始4分にタイムアウトを取った。その直後、兵庫#4榊原と#10白井の3P、#5小林のジャンプシュートが決まり、一気に均衡を打開した。一方の北海道は、センター#14富士にボールを集めるが、前半28-38と10点差で兵庫がリードして前半を終了。

3Q、北海道は、ディフェンスをハーフコートのマンツーマンに戻した。すかさず兵庫#12村田がインサイドへのドライブインを繰り返し、北海道のファールを誘ってフリースローで得点を重ねる。北海道は#14富士の3連続ゴールで応戦するも、残り5分には37-47と10点差に広げられ、タイムアウト。北海道はインサイドへ集中するディフェンスに対応して、#9長内の2連続3Pなどで49-53まで追い上げ、3Qを終了した。

4Q、出だしから両チームともディフェンスが激しさを増し、ターンオーバーの応酬となった。残り4分、兵庫の#4榊原、#9根田の2連続3Pが決まったところで、51-65とこの試合最大の兵庫14点リードとなった。北海道はタイムアウトを取り、局面の打開を図るが、逆に攻め急ぐあまり、パスミスなどから兵庫に速攻を許し、追い上げも及ばず、53-72で兵庫の勝利となった。

記載責任者 小林 秀亮 (所属) 新潟県バスケットボール協会